

舞台に
あなたの
宮城を、



宮城県職員募集
2026

総合土木

業務紹介

◆ 概要

道路、河川、都市計画、港湾、空港など、
多岐にわたるインフラ施設において、
計画・施工・維持管理に係る全プロセスに携わり、
県民が安心・安全に利用できるインフラを整備する。

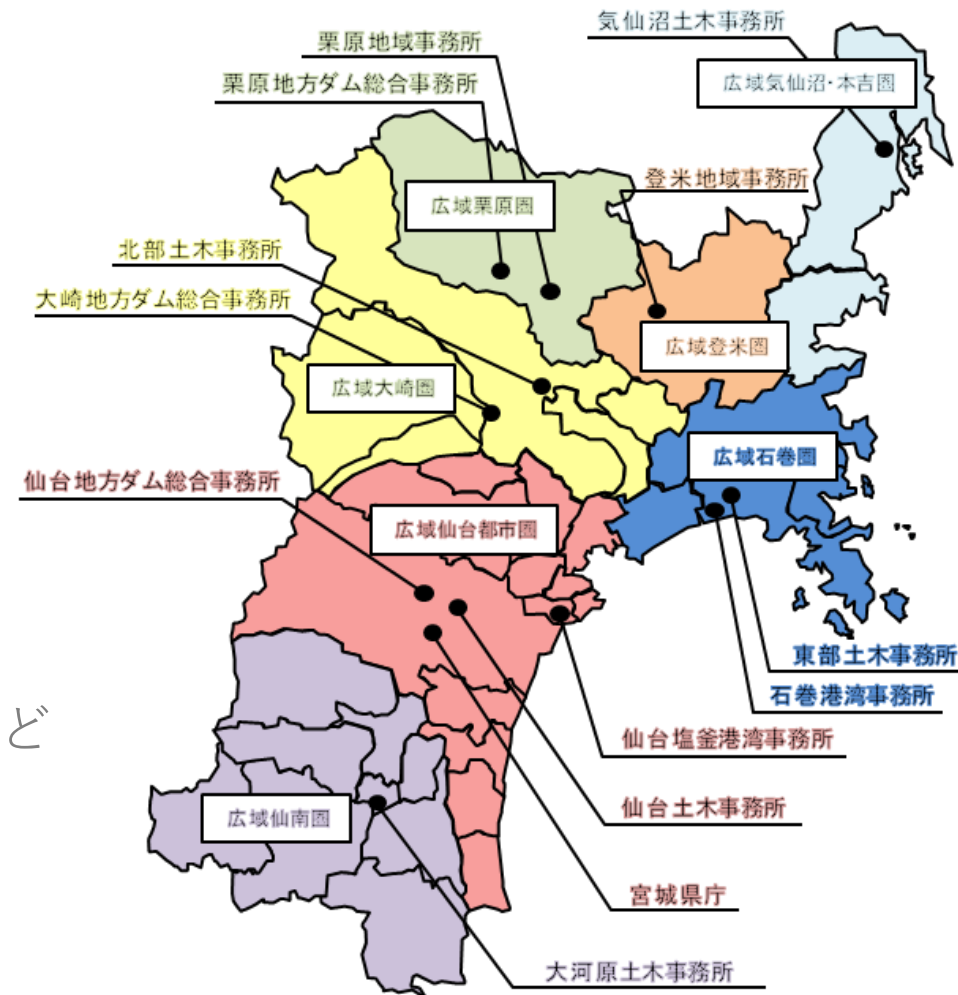
◆ 勤務先

本庁各課（14課）

道路課・河川課・防災砂防課・都市計画課・港湾課 など

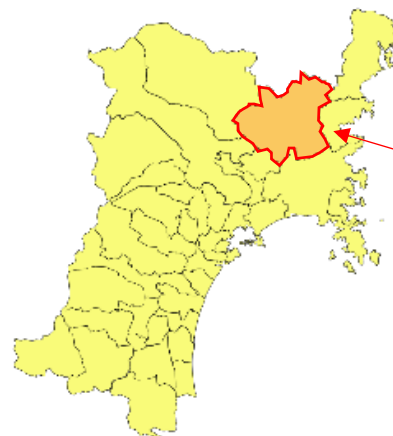
地方機関（12事務所）

土木事務所・港湾事務所・ダム総合事務所



自己紹介

- ◆ 出身 : 宮城県登米市
- ◆ 入庁までの経歴 : H26.3 県内高校卒業
H26.4 入庁



登米市出身

入庁後の異動歴（現在入庁13年目）

地方機関 H26.4～ **土木部 気仙沼土木事務所 河川砂防第一班**

東日本大震災からの復旧復興に向けた河川・海岸の堤防の整備など

地方機関 H29.4～ **土木部 仙台塩釜港湾事務所 工務班**

水門陸閘遠隔システムの整備など R1.11～R2.3大河原土木事務所支援（R元年台風19号）

自治法派遣 R2.4～ **土木部 土木総務課 丸森町役場派遣**

R元年台風19号で被災した河川・道路の復旧整備

本 庁 R4.4～ **土木部 都市計画課 まちづくり推進班**

3.11伝承・減災プロジェクトの活動など R4.9～R4.10北部土木事務所支援（R4年豪雨）

本 庁 R6.10～ **土木部 港湾課 建設班**

港湾施設の維持管理、長寿命化の検討や老朽化した施設の対策など

志望動機

◆ なぜ公務員？

計画→整備→維持管理と幅広く携われることができる

福利厚生がきちんとしており、公私ともに充実させることができる

◆ なぜ宮城県庁？

中学の卒業式当日に東日本大震災を経験し、

生まれ育った宮城県の復興に直接携わりたいという強い意志があり志望。

また、地元への愛情も強く、宮城県の魅力を更に発掘し感じたいと思い、

「宮城県」を選んだ。

これまでに担当した業務の紹介

- 【（気仙沼土木） 大川災害復旧工事】
- 【（仙台塩釜港湾事務所） 仙台港区陸間工事】
- 【（丸森町役場派遣） 五福谷北山線道路災害復旧工事】
- 【（都市計画課） 復興まちづくりパネル展・出前講座】
- 【（港湾課） 港湾施設長寿命化計画策定】

河川関係：3年

港湾関係：5年

都市計画関係：3年

災害派遣：2年



丸森町役場に派遣



高知県でのパネル展

現在の担当業務の紹介

宮城県庁ならではの使命
東北唯一の国際拠点港湾を守る

- ・宮城県内の自治体で港湾を管理できるのは宮城県庁のみ！
- ・港湾施設の維持管理や、老朽化を迎える施設の長寿命化計画の策定、新たな港湾施設の新設を担当。
- ・港湾事務所での現場経験が、大いに役立っている。



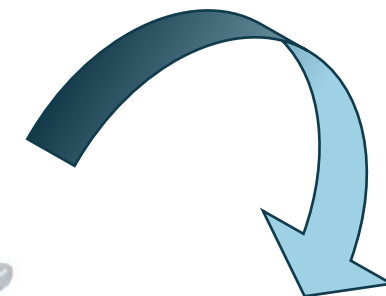
仙台塩釜港は東北唯一の国際拠点港湾

入庁前のイメージとのギャップ

◆ 入庁前のイメージ

デスクワークや事務作業が多そう。。

堅苦しいイメージがあり職場に馴染めるか不安。。



◆ 入庁してみたら・・・

工事現場の確認で県内各地への外出や、

時には会議、打ち合わせなどで県外への出張もあり、外出の機会がかなり多い。

たくさんの人と交流でき、仕事以外でも趣味などを共有したり、

今では、入庁前には想像していなかった公私共に仲良くなる人も！



仕事をする上で心がけていること

◆ 報・連・相の本当の意味「上司は頼れる情報屋さん」

経験豊富な上司は、様々な知識を持つ「情報屋さん」

どんな些細なことでも情報共有することで、問題を素早く解決し、
一緒に悩んでくれる。中にはプライベートの悩みも解決するかも！

自分のミスを減らすため「報・連・相」することでチームプレーとして仕事をする。

◆ スピードと質の追求「60点主義でチームの最適解を出す」

時間をかけて自分なりの満点の資料を作り報告するより、

60点の段階で素早く報告し、フィードバックを重ね一緒に満点を作り上げる！

必ずしも周りが同じ考えではないため、手戻りや時間のロスを防ぐこと。

印象に残っている業務

記憶を未来の防災へ繋ぐ「3.11 伝承・減災プロジェクト」

- ・ 東日本大震災からの復旧を成し遂げた宮城県の宿命として、今後起こりえる南海トラフ地震、首都直下地震の被災が想定される他県自治体に対し、震災直後から復旧・復興に係る宮城県の対応やプロセスについて、全国各地へ説明をして回る活動。
- ・ 私の上司たちが行ってきた経験が他県の防災意識向上に繋がり、今後の被害軽減に役立つことに深い意義を感じた。

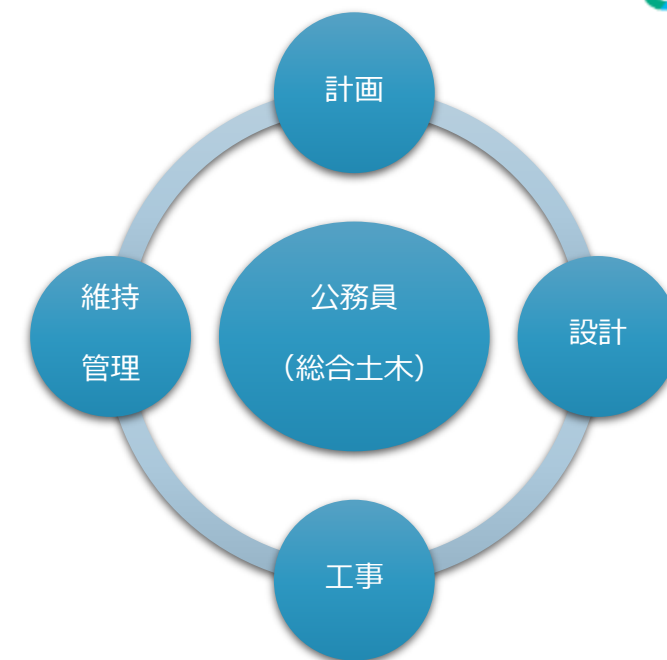
仕事のやりがい

◆ 0 から完成まですべてを見届ける

理想の施設を作るために自ら「計画」・「設計」に携わり、
その設計を現地に造りあげる「工事」の監督を行う。
また、完成した施設の「維持管理」と全プロセスに携われる。
工事が完成した時には大きな達成感を味わえる。

◆ 有事における結束力

災害発生時は、土木部のチームプレーが最も際立つ瞬間！
誰がどの担当という垣根を超え、一日も早く県民の日常を取り戻すために、
土木部職員がワンチームとなり、同じ目標達成に向かう力強い組織体制が魅力。



職場の雰囲気

◆ 全方向で風通しが良い職場

自分の班だけではとどまらず、他の班との「横」の繋がりが多く、若手同士の意見交換や仕事以外の雑談など日々活発。

加え、否定だけではない上司がいるからこそ「縦」の繋がりで意見を言いやすい環境。



◆ 職場の居心地はいつだって自分次第。

これまでの職場、必ずしも全部が良かった訳じゃない。

第一印象は大事だが、仕事をする仲間はそれだけで決めてはいけない！

苦手な人でも自らコミュニケーションを図り、自分を知ってもらおう努力をすることで、自分に心を開いてくれることもあり、居心地が良い職場にすることができる。

宮城県職員の魅力

◆ 災害対応力

東日本大震災に加え近年頻発化する災害など大きな災害を経験してきた宮城県職員。

災害が起きた時の対応、他県への応援。

宮城県職員だからこそ出来ること、伝えられることがある。

◆ 私生活の充実が仕事の質を決める

民間企業に勤める知人達に話を聞くと、やはり休暇が取得しやすい。

私用による休暇や、育休など子育て支援制度も非常に充実している。

プライベートを充実させ、結果として仕事でのハイパフォーマンスへと繋がる。

年次休暇に加え、介護休暇、育休子育て部分休暇、育児休業など複数の休暇制度あり！！

私も2回に分けた育児休業を取得
(生後2か月、その後4ヶ月の計半年間)

私の公務員試験対策

試験対策の3つのステップ

ステップ1：目の前にいる「先生」は公務員の大先輩

先生（公務員の人）に公務員になりたい。と相談して嫌がる人はほとんどいないはず。
それを上手く活用し相談しやすい環境を整え支援を求める。

ステップ2：学習するための環境づくり

私自身、高校時代は部活、プライベートを優先して勉強をあまりしてこなかったが、
同じ目標を持つ友達を作ったことにより、放課後の時間や休日など、
勉強する時間を確保し集中することができた。

ステップ3：過去問を反復する

限られた時間の中では、ひたすら過去問を解くことが最大の近道

先輩職員からのメッセージ

公共インフラの整備は、
県民が毎日当たり前のように利用するものを支え、
暮らしを守る大切な仕事。
担当する分野が違ってても、
「宮城県をより良くしたい」という私たちの思いは同じ。
一緒に宮城県の未来を築ける日を楽しみにしています。

地図に残る仕事を共に。

